

輪

新潟大学附属特別支援学校
学校便り 第506号
令和6年2月13日発行

魅力あふれる「すなやま祭」

特別活動部主任 百崎 千

4年ぶりに、全学部が体育館に集まったの開催となった今年度のすなやま祭。昨年度同様、保護者の皆様には、各学部の発表を温かく見守り、応援していただきました。皆様のご理解とご協力のおかげで、無事に終わることができましたこと、心より感謝申し上げます。

子供たちは、これまで「頑張った成果を見てもらおう！」「おうちの人や他の学部の仲間のみんなに楽しんでもらおう」と、それぞれの学部で練習を重ねてきました。当日は、各学部とも、これまでの練習の成果を堂々と発揮し、会場が一つになって盛り上がることはできたのではないのでしょうか。何より、これまで一人一人が1年間の様々な学習を通して、身に付けてきた力を、存分に発揮することができた素敵な時間になることができたと思います。

保護者の皆様には、すなやま祭に関するアンケートにもご協力いただきました。皆様からの貴重なご意見、ご感想を来年度以降に活かしていきたいと思っております。大変ありがとうございました。

小学部児童会による
開会宣言
「すなやまさい」
「はじまるよ」
「がんばろう！」



中学部生徒会による司会
オープニングとエンディングを楽しく進行了ました



高等部生徒会によるエンディング
会場の盛り上がりは最高潮に達しました



<各学部の発表の様子>

【小学部】

小学部は「うごいて かなでて すなやま発表会！！」をテーマに、体育と音楽の学習の成果を発表しました。「みんなに見てもらいたい！」という思いをもって、動きを大きくしようしたり、リズムをよく聞いて表現しようしたりするなど、すなやま祭に向けての練習の過程でもたくさんの成長が見られました。その成果が、一人一人の輝いた姿として表れたすなやま祭になりました。保護者の皆様からの大きな花丸、先輩たちからの温かい拍手に包まれて、充実感に満ちた表情で発表を終えることができました。たくさんのご声援をありがとうございました。



(小学部3組担任 端谷 勇樹)

【中学部】

中学部では、「世にも貴重な物語～うさぎとかめ、三匹の子ぶた、オオカミと羊飼いか」というテーマで、国語の学習で取り組んできた物語劇の発表を行いました。3つの物語について、それぞれが想像したことをせりふとして取り入れたり、登場人物の心情に合わせて動作を入れたりして劇を完成させてきました。多くの方の前で発表することに緊張をしながらも、本番までにたくさん練習してきたことを自信に変え、堂々と発表することができました。会場の皆様からの温かい拍手や笑顔をいただくことができ、生徒一人一人が達成感と満足感を味わうことができました。たくさんのご声援、ありがとうございました。



(中学部1年担任 加藤 亮)

【高等部】

高等部は「学習の軌跡～国語が大事なのってなあぜなあ～ぜ！？～」のテーマで、学習の成果を発表しました。Aグループは「俳句（書く）」Bグループは「聞き取りミッション（聞く・話す）」Cグループは「看板クイズ（読む）」を発表しました。グループの発表では、一人一人が自分の役割を果たし、練習の成果を出し切ることができました。フィナーレでは、高等部全員が一丸となって「書道アート」と「ソーラン節」を披露しました。会場を巻き込み、大いに盛り上がりました。「すなやま祭大成功！！」の文字と、会場内に響き渡る大きな拍手、達成感に満ち溢れた生徒たちの表情から、すなやま祭を大成功！！に終えることができたかと確信しています。



(高等部1年担任 池田 陵)